

第12回行政改革推進本部会議(メモ)

出席者

- ・市長 ・収入役 ・教育長 ・議会事務局長(主幹代理) ・総務部長 ・市民部長
- ・観光商工部長 ・都市建設部長(まちづくり推進室長代理) ・上下水道部長 ・企画部長
- ・健康福祉環境部長 ・農林振興部長 ・教育次長 ・消防長 ・萩原振興事務所長
- ・小坂振興事務所長 ・下呂振興事務所長 ・金山振興事務所長(管理課長代理)
- ・馬瀬振興事務所長 ・総務課長 ・秘書広報課長
- ・事務局：行革推進室：池戸室長 今井 野村

欠席者：助役、金山病院事務長

会議メモ

1. 本部長(市長)あいさつ

- ・今月に入って2人の職員が亡くなったことに対して心から哀悼の意を表すとともに、優秀な職員を失ったことは痛恨の極みである。職員のメンタルケア、フィジカルケアが大切であると感じている。
- ・7月20日には東海初、全国5例目となるISMSの認定を受けた。市民サービスを向上させながら個人情報等秘密は守るといふ、二律背反のような状況であり難しいかもしれないが、がんばって欲しい。今後はなぜISMSが必要なのか市民の方に理解していただく必要がある。
- ・地域再生計画における道路整備交付金は県下で下呂市を含め6団体のみに認められた。主に市道林道の整備について事業費12億5千万円に対し、6億5千万円の交付が認められた。
- ・地産地消と振興事務所の賑わい回復を目的に、萩原庁舎で朝市を開催したところ、好評である。これを踏まえて、他の振興事務所でもなんらかの取り組みを考えて欲しい。

(1) 行政改革推進本部(各部課)の取り組み状況(報告文書に記載されていないものを記録)

- より具体的に何をしたか、改善内容がどんなことか説明して欲しい。また、悪いから改善も大切であるが、良いことのPRも必要であろう。
- ・総務部長：指定管理者制度は、9月議会に条例改正をし、3月までに公募、業者決定し、3月議会には指定管理者を決定する議決を行う。
- ・市民部長：災害対策では、市民部は健康福祉環境部の応援になっているが、その前に市民部として重要書類の保全、近隣振興事務所の市民部関連業務の応援などを考えている。
先月の行革会議で行事予定がわかるようにしらさぎネットの行事予定の活用をお願いしたところ、すぐ取り組んでいただき、今は下呂市で何が行われているか一目瞭然となっており、とても解りやすい。いいことはすぐに取り組む心がけをお願いしたい。
パンフレット等の郵送には手書きのメッセージを入れるようお願いしている。肉筆のメッセージは下呂市のイメージアップであり、観光地下呂市として大切な取り組みである。
- ・上下水道部長：業者からのアウトソーシングの提案説明は、下呂市全体の水道施設管理をどのような仕組みで、どのような内容で、どこまで管理するのか、といった内容である。
住民ニーズは増えていくが職員は減っていく。このギャップを埋めるにはアウトソーシングしかない。他部局でも考えて欲しい。
- ・企画部長：合併時の未調整事項があり、その調整にみなさんの協力をお願いしたい。
農林振興部は補助金が数多くあるが、補助金分科会の意見も参考にしながら補助金の取扱を検討してほしい。
保育園公設民営化については、いろいろな意見があるが基本方針のなかで上手く説明をお願いしたい。
指定管理者制度について、各担当課は早急に良く検討を進めること
- ・萩原振興事務所の電話対応は、4月当初に比べるとトラブルも無くなってきたが、現場業務が多い課が当番だと、3コール以内で取れない電話もあり、そのような電話は管理課で対応している。
- ・金山振興事務所管理課長：庁舎4階の有効利用として、社会福祉協議会関連の団体に貸し出すこととした。ただし、セキュリティの面から使用時間は庁舎が開いている平日の昼間にかぎり、入室管理及び庁舎管理の責任は社会福祉協議会とする。

(2) 下呂市行政改革の進捗状況について

資料に従い説明

(3) 行政改革分科会の取り組み事項について

事務改善分科会の検討結果中間報告について

・事務資料に従い説明

総車両台数は減らす。現在も若干の車両の配置換えを行っているが、今後は組織の人員と業務のバランス配慮して再配置をする。

安全運転管理の面から、しらさぎネットの公用車管理システムをフル活用すること

・コピー機等事務機器の適正配置について

機器を統一することによって安価な契約に移行しようとしている。現在使用状況を調査し、組織改変後の再配置に生かす。また、新たに導入する機械はコピー、ファクシミリ、プリンター、スキャナなどの多くの機能を持った複合機を導入する。

夏まつり歓迎レセプションの開催方法について

・夏まつりは伝統文化であり、金もそんなにはかかっていない。今後も継続はしていくが、ムダは省いていく。これまでレセプションは、各地域で開催され招待者も重複していたことから、下呂市として一箇所で一括して実施することとする。

・南部から開催することとし、今年は金山管内で開催する。

・出役は、四役、各振興事務所長、開催地の部長級職員を予定している。

職員旅費日当の運用について

・8月1日から県内日帰り旅費のうち日当2000円は廃止する。

サービス向上委員会の取り組みについて

7月14日開催のサービス向上委員会正副委員長会議の記録に基づき説明

電話対応調査の実施について

・先進事例として彦根市を紹介し、電話マナーの向上のため下呂市でも実施することを説明

・調査官は、行政改革推進委員にお願いし、サービス向上委員会で結果の検討と改善策を全職員にフィードバックし、再度調査を行うという取り組みである。

(4) 職場内研修について

・添付資料に基づき説明

・職員にはしらさぎネットで周知するが、未接続の職員に対しては所属長が責任を持って周知と応募とりまとめ、申し込みを行う。

・研修の講師は、わかりやすいテキストを作成し、わかりやすい説明をすること

・たくさんの方が受講できる工夫をすること

・テキストは職員文書棚に整理して保管すること

・講師のスキルアップのため、研修のわかりやすさ等のアンケート調査をすること

(5) その他

行政改革職員研修について

昨年に引き続き、意識向上分科会で取り組んでいただく

10月27日(木)・・昼の部、夜の部の2回開催

10月28日(金)・・午前中に部課長級以上の管理職対象の研修を開催

講師は関西学院大学の教授を予定している。

観光商工部長より

観光キャンペーンに、観光商工部以外から協力をいただいているが、とてもがんばっていたき感謝している。ありがとう。

収入役より

市の工事等においては、業者手配のガードマンの不手際でも、市の不手際とされ批判される。工事等を発注する場合、業者に対して市民の方に対する対応には十分注意するよう打ち合わせる必要がある。

以上